

北陸の道祖神

道祖神調査資料

金沢市 滝本やすし

2016/10/09

北陸の道祖神

滝本 やすし

北陸三県にみられる道祖神をまとめた。次のものは省いている。

- ・道祖神と称されているが、造形が異なるもの。
- ・昭和四十年以降の作と思われるもの。

富山県の道祖神

男女二神像の道祖神がみられるのは、近年作られたものを除き、飛騨街道に限られている。しかもその多くは下夕道と呼ばれる神通川右岸に集中している。在銘のもので最も古いものは富山市東猪谷カモンケの文政三年（一八二〇）で、最も新しいものは富山市奥山（長棟）の大正十二年（一九二三）である。

文字塔がみられるのは旧北陸道、立山道、山田湯道である。男女二神像がみられる飛騨街道には、文字塔は一基も確認していない。旧北陸道のものとは比較的古いようで、滑川市柳原の櫛原神社のものには天保十二年（一八四一）の銘がみられる。山田湯道のものも新しく明治以降の作である。

石川県の道祖神

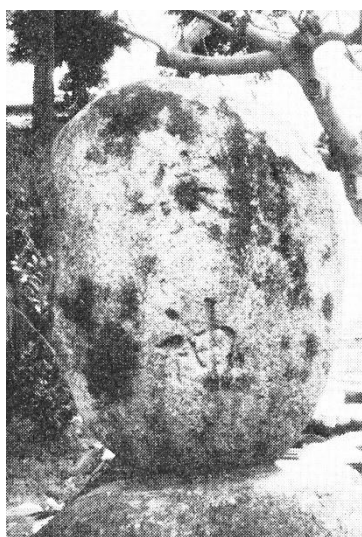
石川県には道祖神がほとんどみられない。近年作られた男女二神像を除くと文字塔が二基のみである。能登方面には、一基も確認していない。

福井県の道祖神

福井県では道祖神を一基も確認していない。越前地方に愛の神と称する男女二神像がみられ、道祖神信仰と同様の信仰による造立と考えられる。

入善町上野の塞神

入善町上野の竹内皎三宅の裏に、自然石に「塞神」と刻まれた石塔が建てられている。高さ八八cm。町内では年に一度「塞神祭り」が行われているそうである。



黒部市宇奈月町下立中ノ口の道祖神

宇奈月町下立中ノ口の旧北陸道の上街道ぞいに、自然石に「道祖神」と刻まれた石塔が置かれている。左側面に「午二月吉日」と刻まれている。反対面には年号が刻まれていたと思われるのだが磨滅していて判読できない。高さ約四八cm。ここは愛本橋の近くで、黒部川を越える交通の要所である。



黒部市宇奈月町下立の道祖神

宇奈月町下立の、旧北陸道上街道より二〇メートルほど山側に入ったところに「道祖神」と刻まれた角柱型の石塔が建てられている。高さ六七cm。



滑川市柳原櫟原神社の道祖神

柳原の櫟原神社の境内に「道祖神」と刻まれた石塔が建てられている。高さ約一四二cmの花崗岩製の立派な石塔で「天保十二辛丑年」の銘がある。文字塔としては富山県内で唯一、江戸時代の銘が入ったものである。



滑川市常盤町櫟原神社の道祖神

前出と同じ名前の櫟原神社であるが、こちらは常盤町で海岸のすぐ近くである。自然石に「道祖神」と刻まれており、高さ約八七cm。立派な台座の上へのせられており前には鳥居が建っている。旧道沿いにあったのを境内に移したという。



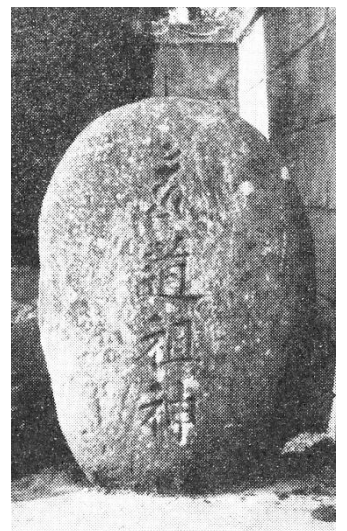
滑川市加島加積雪嶋神社の道祖神

海岸のすぐ近くの加積雪嶋神社の境内に、自然石に「道祖神」と刻んだ石塔が建てられている。高さ一〇五cm。ここは旧北陸道から立山道への分岐点にあたり、この後ろには道標や庚中塔などが林立している。



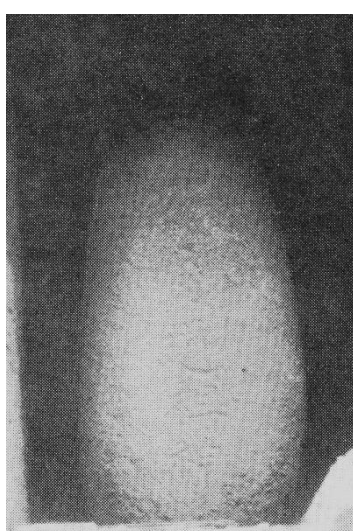
立山町岩峯寺の道祖神

岩峯寺の四ツ角に「不動明王」と刻まれた大きな石塔が建てられており、その脇に「道祖神」の文字塔が建っている。高さ約七二cmで「道祖神」の上には「ウーン」の種子が刻まれている。



立山町宮路の道祖神

岩嶮寺の道祖神から百メートルほど南の、宮路の道路脇に置かれている。こちらのほうも「ウーン・道祖神」と刻まれている。小さな石塔で高さはわずか二七cmほどである。



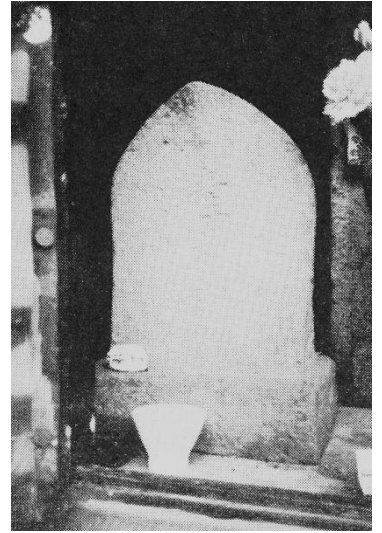
富山市水橋町天満宮の道祖神

天満宮の境内に建てられている。「道祖神」と刻まれているが、銘文などは入っていないようである。



富山市岩瀬梅本町の道祖神

地藏堂内に納められている。舟型に加工された石の中央に大きく「産子神」と刻み、その右側に「道祖神」左側に「庚申神」と刻んでいる。



富山市西ノ番の道祖神

西ノ番の集落から少しはずれた水田の脇に、庚申塔などとともに自然石に「道祖神」と刻んだ石塔が建てられている。高さ約一二六cm。



富山市秋ヶ島大日八幡神社の道祖神

富山空港のすぐ近くの秋ヶ島大日八幡神社の境内に「道祖神」と刻んだ石塔が建てられている。高さ五四cm。境内には他にも多くの石塔などがみられる。



富山市奥山(長棟)の道祖神

旧大山町の山の奥、岐阜県との県境に近い長棟は、江戸時代には鉛鉱山の町として栄えたが、昭和二年に廃村になった。集落跡の入り口の小堂に、不動明王と共に男女二神が彫られた道祖神が納められている。男女並立像で「大正十二年十月 山村源次郎」の銘がある。廃村のわずか四年ほど前に建てられている。



富山市今生津の道祖神

飛騨街道の東街道(下夕道)には、男女二神像が彫られた道祖神が多くみられる。旧大沢野町今生津の道祖神はこの街道では最も北に位置する。男女並立像で「大正四年三月 大田寅之助」の銘が入っている。高さ三〇cm。

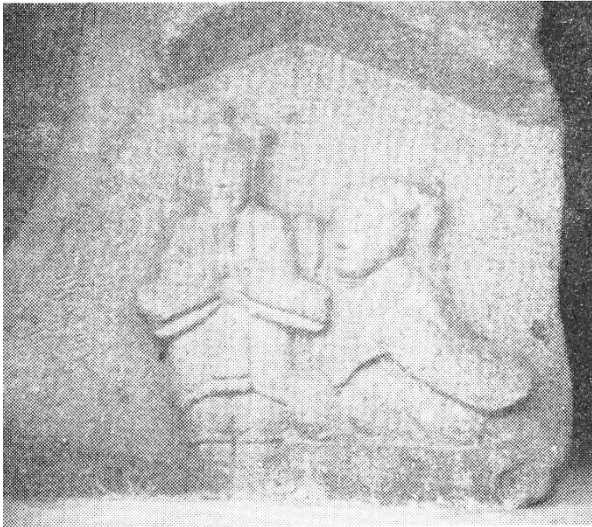


富山市布尻の道祖神

布尻の街道脇にある小堂に、四个体の男女二神像が納められている。平成六年に、新しい堂に建て替えられた。向かって右側から順に見て行きたい。

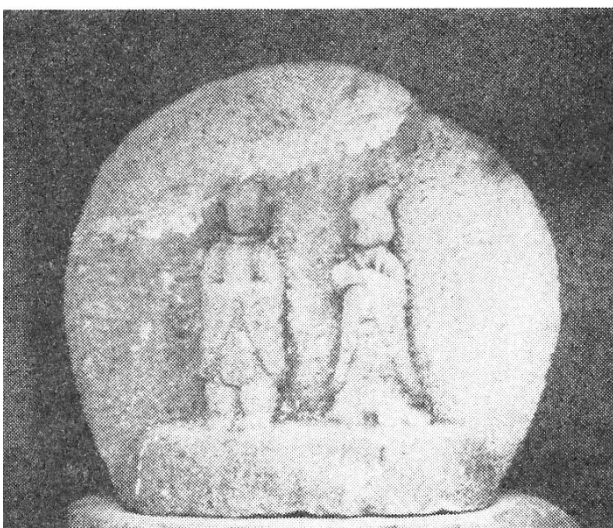
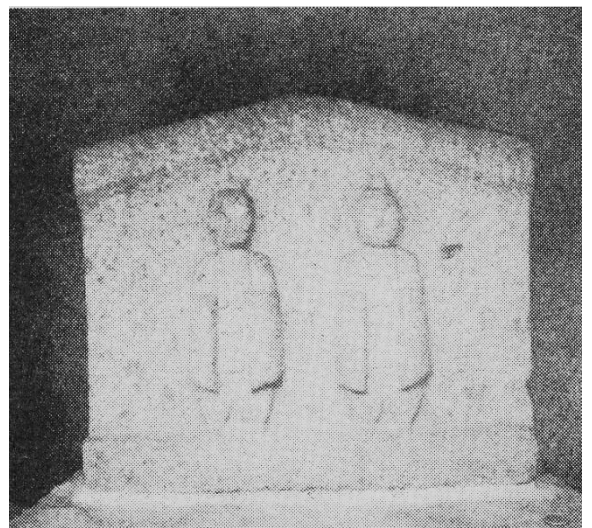
いちばん右側の道祖神は男女並立像である。他の三个体には年号が刻まれているのだが、これには入っていないようだ。高さ五四cm。

右から二番目の道祖神は男神が立っており、その脇で女神が寄り添うようにひざまづいている。嘉永五年の銘が入っている。高さ六二cm。



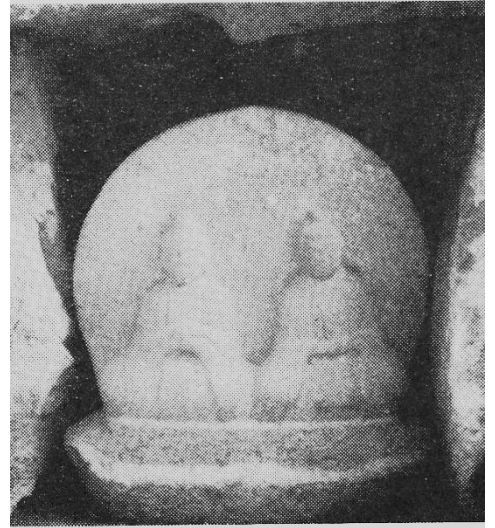
右から三番目の道祖神も男女並立像である。他の三个体と比べると、彫り方がやや稚拙である。文政七年の銘が入っている。高さ三四cm。

いちばん左側の道祖神は、男女並立像で安政六年の銘が入っている。一度盗難にあったのだが、発見されて戻ってきた。高さ三三cm。



富山市舟渡の道祖神

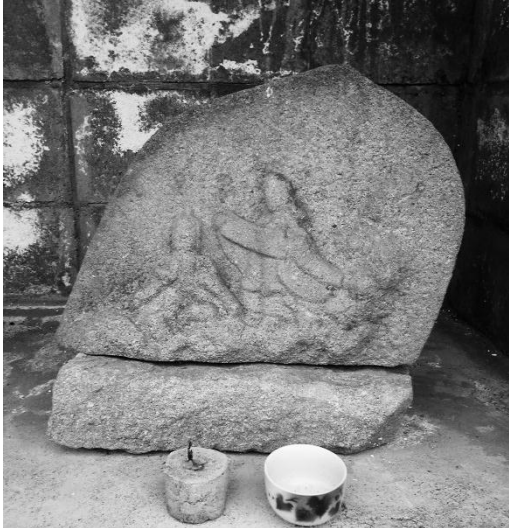
舟渡の集落のはずれ、東猪谷へ向かう坂の途中の切り通しに置かれている。男女並座像で年号は入っていない。高さ二八cm。



富山市東猪谷シモンケの道祖神

東猪谷シモンケの坂上隆市宅前の小堂に、五個体の男女二神像が納められている。向かって右側の像から見ていきたい。

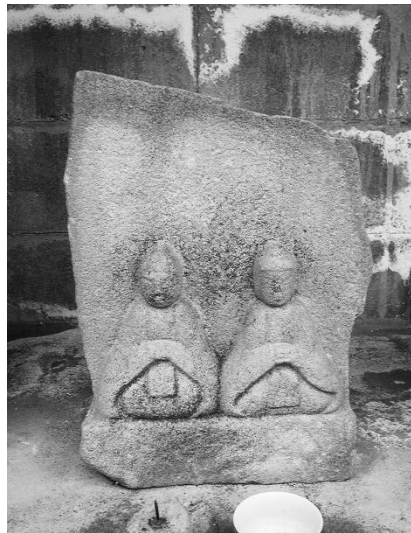
いちばん右の道祖神は男神が座像、女神が立像である。女神が男神のほうへ手をさしのべているように見える。年号などは刻まれていないようだ。高さ約三三cm。



右から二番目の道祖神は男女並立像である。「下夕村長三郎」の銘が入っているのだが、年号が刻まれているのかははっきりとしない。
高さ三五cm。

中央の道祖神は男女並座像である。磨滅しており顔の表情などがはっきりとしない。
高さ約四四cm。

左から二番目の道祖神は男女並立像である。高さ約七四cmであり、富山県内の像塔の中では最も大きい。「文政十三庚寅 當村十兵衛」の銘が入っている。



いちばん左の道祖神は男女並座像である。他の四個体とは大きく像容が異なっている。「男女宮大正六年建之」の銘が入っており、これは男女宮(黄道十二宮の双子座)を彫ったものである。またこれには「キヤ」とみられる種子も刻まれている。高さ四〇cm。



富山市東猪谷カモンケの道祖神

東猪谷カモンケの集落の南はずれの街道脇に、大日如来などとともに二個体の男女二神像が並べられている。向かっていちばん左にもう一個体男女並立像があったのだが、盗難にあい現在はみられない。



現在ある二個体は共に男女並座像である。右側の道祖神には文政三年の銘が入っており、富山県内の在銘道祖神の中では最も古いものである。高さ約四九cm。

向かって左側のものには弘化三年の銘が入っている。高さ約三五cm。



富山市猪谷の道祖神

飛騨街道の東街道には多くの男女二神像がみられるが、西街道(上街道)にはこの一個体のみである。男女並立像で、女神が男神に酌をしている祝言像である。「明治卅五年十月中田徳平立」の銘がある。高さ四四cm。



富山市八尾町下仁歩の道祖神

下仁歩集落内の、丸山と称される岩盤上に建てられている。正面に「道祖神」と刻み、裏面に「明治廿九年九月建 若林長太郎」の銘が入っている。若林長太郎は石工名である。



富山市山田村湯牛嶽社の道祖神

山田温泉のすぐ近くの牛嶽社の鳥居の脇に、石を積み上げた基壇上に建てられている。自然石に大きく美しい書体で「道祖神」の文字が刻まれている。「大正十三年十月建設」の銘が入っている。高さ約一二四cm。



富山市山田村小谷の道祖神

山田村小谷の集落の三叉路に建てられている。自然石に「道祖神」と刻まれているが、年号などは入っていない。
高さ約九〇cm。



射水市中新湊江柱庚申堂の道祖神

江柱庚申堂の脇に建てられている。海石を用いている大きな石塔なのだが「神」の文字も読みづらいほどに磨滅している。平成七年の道路拡張によって少し位置がずらされた。
高さ約一四五cm。



砺波市寺尾の道祖神

寺尾温泉の向かいに建てられている。角拝型に加工された前面に、大きく美しい書体で「道祖神」と刻まれている。明治二〇年、山田村へ向かう道路が開通した時に建てられたそうだ。願主、世話人、発起人等の多くの人名が刻まれている。台石は道標を兼ねている。
高さ約一二五cm。



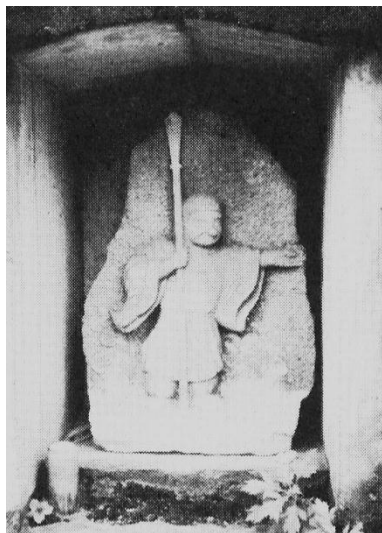
砺波市庄川町三谷の林道祖神

三谷の林道入り口に建てられている。背の高い角柱型に加工された前面に、大きく「林道祖神」と刻んでいる。「昭和廿年九月願主牛嶽鑛泉」の銘があり、林道開通時に建てられたようである。
高さ一四八cm。



南砺市利賀村栗当の猿田彦神像

砺波市庄川町湯谷より南砺市利賀村栗当に入る村境の路傍に、猿田彦神像とみられる石像が立っている。左の手を利賀村栗当のほうに差し出している。これは栗当への道案内をしている姿であり、道祖神的要素が強いと思われる。



白山市奥池の道祖神

旧河内村奥池の炭焼き小屋は、昭和三八年の豪雪で倒壊してしまった。その炭焼き小屋跡へ向かう道の切り通しの中に「道祖神」と刻まれた石塔が置かれている。
高さ約七四cm。



加賀市大聖寺永町の美地乃神

大聖寺高校裏の路傍に「防火美地乃神」と刻まれた大きな石塔が建てられている。「美地乃神」は「道の神」にかけたものと考えられるので、道祖神的な意味も含んでいると思われる。高さ約一五九cm。運搬時の重量を減らすためであろうか、裏面が大きく彫りくぼめられている



あわら市北潟東の愛の神

北潟湖畔の旧道沿いの路傍に清水が湧いている。この清水の裏には小堂が建てられており、男女二神像が彫られた石室が納められている。石室前面の左右の柱には「奉建立愛乃御神石室施主」「干時永禄八年五月吉日」と刻まれている。永禄八年の造立であり、道祖神信仰発祥に近い時期のものと考えられるのだが、同様の信仰がこの地にあったのだろう。越前地方には双体神像がいくつかみられるが、他のものは稚拙である。

案内板には次のように書かれ



ている。

愛の神とお清水の由緒

往古よりここに清水が、滾々と湧き出し、村人は、命を言むこの水の恵みに感謝し、永禄八年（一五六五）、愛の神をお祀りした。愛の神は、「アイノカミ（饗の神）」といわれ、田の神、水の神で、夫婦神とされている。爾来氏神八雲神社の祭礼の前日に、この井戸水が被い清められ、供物の米を蒸すなどに使われてきた。また、昭和二十三年の福井大震災の折も、濁ることなくゆたかに湧き出して、多くの人が、この清水に救われたという。

追記

滑川市田中町の天満宮境内に「道祖神」と刻まれた文字塔を確認した。右側面に「大正九年開帳記念日」、裏面に発起人および世話人の名前が刻まれている。



北陸三県道祖神一覽

昭和40年以降の作と思われるものは除外している。

報告者 H:平井一雄(富山市) O:尾田武雄(砺波市)

T:滝本やすし(金沢市) Y:山本昭治(鯖江市)

住所	所在地	主尊(主文)	年号	西暦	備考	報告者
入善町上野	路傍	「塞神」				T
黒部市宇奈月町下立	路傍	「道祖神」				T
黒部市宇奈月町下立	路傍	「道祖神」				T
滑川市柳原	櫛原神社	「道祖神」	天保12年	1841		T
滑川市常盤町	櫛原神社	「道祖神」				T
滑川市加島町	加積雪嶋神社	「道祖神」				T
滑川市田中町	天満宮	「道祖神」	大正9年	1920		
立山町岩嶺寺	路傍	「ウーン・道祖神」				T
立山町宮路	路傍	「ウーン・道祖神」				T
富山市水橋町	天満宮	「道祖神」				H
富山市岩瀬梅本町	路傍	「道祖神・産子神・庚申神」				T
富山市西ノ番	路傍	「道祖神」				T
富山市秋ヶ島	大日八幡神社	「道祖神」				T
富山市奥山(長棟)		双体像(男女並立)	大正12年	1923		OHT
富山市今生津	路傍	双体像(男女並立)	大正4年	1915		H
富山市布尻	路傍	1 双体像(男女並立)	安政6年	1859		H
同	同	2 双体像(男女並立)	文政7年	1824		H
同	同	3 双体像(男立女座)	嘉永5年	1852		H
同	同	4 双体像(男女並立)				H
富山市舟渡	路傍	双体像(男女並座)				H
富山市東猪谷シモンケ	路傍	1 双体像(男女並座)	大正6年	1917	男女宮	H
同	同	2 双体像(男女並立)	文政13年	1830		H
同	同	3 双体像(男女並座)				H
同	同	4 双体像(男女並立)				H
同	同	5 双体像(男立女座)				H
富山市東猪谷カモンケ	路傍	1 双体像(男座女立)	弘化3年	1846		H
同	同	2 双体像(男女並座)	文政3年	1820		H
同	同	3 双体像(男女並立)			行方不明	H
富山市猪谷	路傍	双体像(男女並立)	明治35年	1902		H
富山市八尾町下仁歩	路傍	「道祖神」	明治29年	1896		H
富山市山田村湯	牛嶽社	「道祖神」	大正13年	1924		T
富山市山田村小谷	路傍	「道祖神」				T
射水市中新湊	江柱庚申堂	「道祖神」				T
砺波市寺尾	路傍	「道祖神」	明治20年	1887		O
砺波市庄川町三谷	路傍	「林道祖神」	昭和20年	1945		O
南砺市利賀村栗当	路傍	猿田彦神像				T

白山市奥池	路傍	「道祖神」				T
加賀市大聖寺永町	路傍	「防火・美地乃神」				T

あわら市北潟東	路傍	双体像(男女並座)	永禄8年	1565	愛の神	T
坂井市三国町玉ノ江	春日神社	双体像(並立)			愛の神?	Y
坂井市坂井町島	春日神社	双体像(男女並座)			愛の神?	T
坂井市春江町高江	住吉神社	双体像(並座)			愛の神?	Y
坂井市春江町西長田	長田神社	双体像(並座)			愛の神?	T
福井市殿下町	天満神社	双体像(並座)			愛の神?	T
福井市河内町	白山神社	双体像(並座)			愛の神?	T
越前町佐々生		双体像			愛の神?	(資料)
南越前町東大通	羽太神社	双体像(並立)			愛の神?	Y